

親子体験活動参加型＋在宅取組型（小学校）

学 校 名	大垣市立荒崎小学校
実施日時	平成28年8月25日(木)
会 場	荒崎小学校体育館
参加人数	児童30名、保護者24名
学習課題(分野)	夏休み親子体験活動 アロマキャンドル講座
運営者の願い	例年、夏休みは親子のふれあいと“思い出の品物づくり”を目的として、親子体験活動を行っている。今年は、今までやったことのないことに挑戦しようと役員会で考え、企画した。講師は役員の人脈から選定した。

学 習 の 内 容

<講師 望月めぐみ氏（LCA認定 キャンドルインストラクター）>

はじめに講師から、安全についての注意事項（カッターやキャンドルの取り扱い、やけどへの対応等）が示され、キャンドル作りが始まりました。

- ①溶かしたロウに、削ったクレヨン混ぜ着色する。
- ②アルミ箔でつくった型に流し込み、羊羹の硬さになったら型から外し、サイコロ状に切る。
- ③2色の②を混ぜて紙コップに入れ、アロマオイルで香り付けたロウを流し込み、全体を固める。
- ④少し残しておいた②を上部にトッピングし、竹串で中央に穴を開け、芯を入れて完成。



<感想>

- ・思ったより簡単に、自分だけのきれいなキャンドルができて嬉しいです。
- ・初めてカッターを使いました。まっすぐ切るのが難しかったです。
- ・ロウを切るとき、白色のロウは硬くなって切りにくかったけれど、青色のロウは柔らかいうちに素早く切れました。2回目は、1回目よりコツがつかめて、上手にできました。

<よいこと見つけ 保護者→子へ>

- ・説明の話をよく聞いて、自分でどんどん作っていきました。切るときは、慎重に丁寧に切っていたし、友達と相談しながら仲良くやっていました。
- ・優しい色（オレンジ、黄色）を選んで、素敵な作品が出来上がりました。いつもの色とはちがう色を選んでいたので、「こんな色も好きなんだ」と新しい発見がありました。
- ・友達とロウのサイコロを交換して、カラフルなキャンドルにしていました。友達と仲良く作業をしていたので、親としてはその姿が嬉しかったです。



<在宅取組型家庭教育学級>

夏休み在宅取組として、「ぼかぼか親子の木」が実施されました。

学校で子どもたちは、相手が嬉しくなるような「ぼかぼか言葉」をつかうよう心がけています。その取組を家庭へも広げるもので、「ぼかぼか言葉いっぱい ぼかぼか家族」が合言葉です。

家庭で見つけた「ぼかぼか言葉」「ぼかぼかエピソード」を木の葉に見立てたカードに書いて夏休み後に提出してもらいました。これを学年の「ぼかぼかの親子の木」に貼って、運動会に掲示し、多くの保護者や地域の方に見てもらいました。どの木も、いっぱい木の葉で覆われていました。

- ☆「持ってあげる！」と重い荷物を運んでくれました。ありがとう。
- ☆体調を崩したときに「大丈夫？」と心配してくれて、嬉しかったよ。
- ☆仕事に行くときに「頑張ってね」と送り出してくれました。頑張るぞという気持ちになれました。



より充実した親子体験活動となるよう、会のはじめに学級長から、「活動中、たくさんの“よいこと見つけ”をしよう」という提案があった。

よいこと見つけをして、ほかほか言葉いっぱいの家族になってほしいと願いは、この講座だけでなく、他の活動へも広がっている。



参加された方に満足していただくためには、安全面の配慮は欠かせない。

会のはじめに全体に注意事項を伝えるだけでなく、役員が担当のテーブルごとに、机上の整頓や道具の扱い方について声かけをするなど、細かい配慮が素晴らしい。



在宅取組結果は、通信での紹介に加えて、保護者や地域の方が集まる運動会で全家庭の取組の様子を掲示した。これにより、一層、家庭教育学級の理解を深めることができています。